



2025
11/8[土]
13:30→15:00

西海 功

国立科学博物館動物研究部
脊椎動物研究グループ研究主幹

参加
無料

日本列島は大陸の東端に位置し、南北に長く、地球の寒冷期には大陸と地続きになった。このような地史を反映して、日本の鳥相（鳥の種構成）は成立してきた。近年の分類の変更によってキジが固有種になるなど日本の鳥の固有種は9種から14種に増加した。固有種には、大陸の集団が絶滅して日本だけに残った古固有（遺存固有）と日本列島内で種分化して生まれた新固有（隔離固有）に大別される。古固有種には、日本列島で種分化した近縁種が高い競争力をもち大陸にも進出したものがいたことが分かってきた。

日本列島の鳥の起源と進化

DNAの研究でわかった鳥たちの歴史

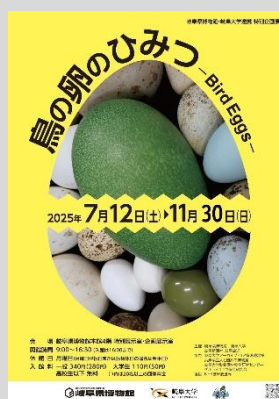
会場
GIFU PREFECTURAL MUSEUM
岐阜県博物館
けんぱくホール

定員
120人 要予約・先着順

申し込み
ホームページから
10/8 AM8:30 受付開始

連絡先(岐阜県博物館)
岐阜県関市小屋名1989
☎0575-28-3111

開催中
鳥の卵のひみつ
7/12-11/30



△入館券が必要です

お申し込みは
こちらから

